

令和6年度第1回地域連携担当者研修会

5月8日(水)

事業説明「これからの地域学校協働活動について」

講師：県教育庁生涯学習課協働教育班



「つながる地域と学校、高めようコーディネータカ」

講師：株式会社 ばとん代表取締役 遠藤 智栄 氏



【受講者の声】※抜粋

- ・地域連携について学ぶ機会を与えていただき、感謝している。地域学校協働活動について、コミュニティ・スクールについて、実践例について等、知識についてはだいぶ得られてきたので、実践にいかしていきたい。
- ・話をしやすい雰囲気づくりを体感できた。地域の方とのつながりにいかしていきたい。
- ・小・中・公民館とそれぞれの思いや悩みを共有することができ、充実した時間になった。
- ・年度初めに実施したことで、情報交換ができた。貴重な機会をいただき感謝している。
- ・人と人のつながりの大切さを伝えていく。地域とのつながりを更に深めたいと感じた。
- ・地域と学校がつながるために地域連携担当の難しさを感じている。しかし、今日のように互いを知ること（対話すること）から理解し、アイデアが浮かんだり広がったりして、それらが様々な活動につながると感じた。とても有意義な研修となった。
- ・人と人がつながることが大事と再認識した。また、顔見知りになり、共に話し合うことの大切さを実感した。
- ・協働教育や地域連携について、不確かだったことを改めて整理し直し、理解することができた。
- ・事例もですが、法律や歴史、制度のことなども勉強したいと感じた。
- ・初めての地域連携担当だったので、早い時期に研修ができ、今後の見通しがもてるようになった。
- ・持続が難しい地域に住んでいる危機感を改めて感じ、この課題に対してどのように対処すべきか、学校でも真剣に考えていかなければならないと強く感じた。
- ・自分の勤務地区の情報・状況を深く知ることができた。相互理解というワードが出ていたが、それを十分に達成できたと感じる研修会だった。
- ・区内の学校や公民館の方々との顔合わせは、今後の活動を行っていく上で重要な時間となった。いろいろな場面でのつながりをもつこと、連携を図っていくことを意識しながら取組んでいきたい。